

令和元年度（平成31年度）

運営に関する計画

大阪市立東桃谷小学校

令和元年5月14日

1 学校運営の中期目標

現状と課題

- 習熟度別少人数指導、教員の複数体制での指導、朝や放課後の時間での学習指導等を実施し、基礎基本となる学力が定着してきた。さらに、全教科にわたり個に応じた課題を持たせた課題解決学習を進めたり、互いの意見を交流するなど「主体的対話的で深い学び」に迫る言語活動の場を充実させたりすることで、多様な表現力の育成を図っていきたい。
- 学校生活ではきまりをよく守りよい生活習慣が定着してきている。互いの違いを認め合い思いやりのある活動が増えている。家庭生活も含め、基本的な生活習慣の確立と変化する社会に対応し、力を発揮できる子どもの育成に努める。
- 運動環境の整備に努めた結果、運動場で活発に遊ぶ児童が増えた。より質の高い体育科指導を推進していくとともに、運動環境の改善を図る。
- 平成 28 年度から、言語活動を重視した「主体的・対話的で深い学び」を追究し、研鑽に努めるとともに協業体制を整えて、研究・研修活動を充実させてきた。目指す子どもの姿「健康・安全に気をつけ、きびきびと行動できる子ども」「感謝の念を持ち、自ら進んで活動できる子ども」「表現力豊かに発信できる子ども」に近づけるよう努めていく。

中期目標

【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】

- 平成 33 年度の学校生活アンケート調査(児童・保護者)で、次の項目について「とても思う」「思う」と回答する児童の割合を 85%以上にする。
 - ・「学校へ行くのが楽しい」(88.5%)
 - ・「進んでいきさつしようとしている」(83.5%)
 - ・「友達を大切にし、なかよくしている」(95.5%)
 - ・「たてわり班の集会活動は楽しい」(90.5%)
 - ・「いじめをしていないし、していたら注意する」(92.0%)
 - ・「学校のきまりを守るようにしている」(92.0%)
 - ・「学校は安全対策や安全指導に取り組んでいる」(92.0%)

【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】

- 平成 32 年度実施の全国学力学習状況調査におけるすべての項目で、全国平均を上回る。
- 平成 32 年度の小学校学力経年調査における標準化得点を、平成 28 年度(102.5 点)より向上させる。
- 平成 33 年度実施の全国体力・運動能力調査ですべての種目で、全国平均値を上回る。(5 年生)
- 食後の歯磨きの習慣を定着させるとともにより歯の磨き方を定着させる。
- よい姿勢の大切さを伝えるとともに姿勢改善に向けた具体的な取組を継続する。
- 校内の研修・研究活動を充実させるとともに、校外の研修・研究活動に進んで参加し、その成果を日々の指導に活かす。

2 中期目標の達成に向けた年度目標（全市共通目標を含む）

【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】

全市共通目標（小・中学校）

- 年度末の校内調査において、学校で認知したいじめについて、解消した割合を95%以上にする。
- 小学校学力経年調査・校内調査における「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える児童の割合を80%以上にする。
- 年度末の校内調査において、暴力行為を複数回行う加害児童数を前年度(0人)より減少させる。
- 年度末の校内調査において、新たに不登校になる児童を前年度(0.9%)より増えないようにする。

学校園の年度目標

- 学校生活アンケート調査（児童）で、次の項目について、「とても思う」「思う」と回答する児童の割合を前年度を上回る。
 - ・「進んであいさつしようとしている」（平成30年度 84.9%）
 - ・「いじめをしていないし、していたら注意する」（90.2%）
 - ・「学校のきまりを守るようにしている」（92.0%）
- 「PTAや地域の行事に参加している」と回答する児童が70%以上になるようになる。（71.2%）

【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】

全市共通目標（小・中学校）

- 小学校学力経年調査における、
 - ① 標準化得点を、同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より向上させる。
 - ② 正答率が市平均の7割に満たない児童の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント以上減少させる。
 - ③ 正答率が市平均を2割以上上回る児童の割合を同一の母集団で比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント増加させる。
- 小学校学力経年調査における「学校の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、肯定的に解答する児童の割合を、前年度（83.9%）より増加させる。
- 「全国体力・運動能力調査」（5年生）において、20m シャトルラン、50m 走の平均の記録で大阪市平均を上回る。

学校園の年度目標

- 学校生活アンケート調査（児童）で次の項目について「とても思う」「思う」と回答する児童の割合を85%以上にする。
 - ・「学校へ行くのが楽しい」（平成30年度 79%）
 - ・「学校の勉強は分りやすい」（85.4%）
 - ・「授業では、進んで発表したり、友だちの意見をよく聞いたりしている」（83.4%）
 - ・「本を読むのは楽しい」（87.3%）
- 良い姿勢の意識づけをし、実践する。
- 「学校生活のアンケート」調査で、次の項目について「とても思う」「思う」と回答する児童の割合を90%以上にする。
 - ・「体育の学習は楽しい」（平成30年度 87.8%）
 - ・「スポーツや運動遊びが好きだ」（87.3%）
- 英語タイムを週に30分以上、英語活動は年間標準授業時数以上実施する。
(3・4年生-15時間、5・6年生-50時間)

3 本年度の自己評価結果の総括

大阪市立東桃谷小学校 平成 31 年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A：目標を上回って達成した
B：目標どおりに達成した
C：取り組んだが目標を達成できなかった
D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】</p> <p>全市共通目標（小・中学校）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 年度末の校内調査において、学校で認知したいじめについて、解消した割合を 95%以上にする。 ○ 小学校学力経年調査・校内調査における「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える児童の割合を 80%以上にする。 ○ 年度末の校内調査において、暴力行為を複数回行う加害児童数を前年度(0人)より減少させる。 ○ 年度末の校内調査において、新たに不登校になる児童を前年度(0.9%)より増えないようにする。 <p>学校園の年度目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学校生活アンケート調査（児童）で、次の項目について、「とても思う」「思う」と回答する児童の割合を前年度を上回る。 <ul style="list-style-type: none"> ・「進んでいいさつしようとしている」（平成 30 年度 84.9%） ・「いじめをしていないし、していたら注意する」（90.2%） ・「学校のきまりを守るようにしている」（92.0%） ○ 「P T A や地域の行事に参加している」と回答する児童が 70%以上になるようにする。（71.2%） 	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【施策 1 安全で安心できる学校、教育環境の実現】</p> <p>年 3 回「いじめに関するアンケート」を実施し、いじめの早期発見・対応をする。</p> <p>指標 年度末の「校内いじめに関する調査」において、学校で認知したいじめについての解消率 95%を維持する。</p>	
<p>取組内容②【施策 2 道徳心・社会性の育成】</p> <p>道徳の年間指導計画を確立し、指導計画に基づいて指導法を研究する。</p> <p>指標 年間指導計画に基づいて実施する。（35 時間、1 年生-34 時間）</p>	
<p>取組内容③【施策 2 道徳心・社会性の育成】</p> <p>情操を豊かにすることをめざし、観劇・吹奏楽等の芸術鑑賞を計画的に実施する。</p> <p>指標 児童・保護者等の参加者アンケートでの満足度を 70 %以上にする。</p>	
<p>取組内容④【施策 3 地域に開かれた学校づくりと生涯学習の支援】</p> <p>「読書タイム（朝の学習タイム）」「図書館あいてんデー」を活用し、図書館補助員と連携して、読書に親しむことができるようとする。</p> <p>指標 図書の貸し借りや図書館、図書館補助員を活用した活動を年間 35 回行う。</p>	
<p>取組内容⑤【施策 3 地域に開かれた学校づくりと生涯学習の支援】</p> <p>企業や団体の協力による職業講話や職場見学、校外体験学習などによりキャリア教育を進める。</p> <p>指標 児童アンケートで「これから学習や生活に生かすことができた」と回答する児童の割合を 80 %以上にする。</p>	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

次年度への改善点

大阪市立 東桃谷小学校 平成 31 年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A：目標を上回って達成した B：目標どおりに達成した
C：取り組んだが目標を達成できなかった D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】</p> <p>全市共通目標（小・中学校）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 小学校学力経年調査における、 <ul style="list-style-type: none"> ① 標準化得点を、同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より向上させる。 ② 正答率が市平均の 7 割に満たない児童の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より <u>1</u> ポイント以上減少させる。 ③ 正答率が市平均を <u>2</u> 割以上上回る児童の割合を同一の母集団で比較し、いずれの学年も前年度より <u>1</u> ポイント増加させる。 ○ 小学校学力経年調査における「学校の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、肯定的に解答する児童の割合を、前年度（83. 9%）より増加させる。 ○ 「全国体力・運動能力調査」（5年生）において、20m シャトルラン、50m 走の平均の記録で大阪市平均を上回る。 <p>学校園の年度目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学校生活アンケート調査（児童）で次の項目について「とても思う」「思う」と回答する児童の割合を 85%以上にする。 <ul style="list-style-type: none"> ・「学校へ行くのが楽しい」（79%） ・「学校の勉強は分りやすい」（85. 4%） ・「授業では、進んで発表したり、友だちの意見をよく聞いたりしている」（83. 4%） ・「本を読むのは楽しい」（87. 3%） ○ 良い姿勢の意識づけをし、実践する。 ○ 「学校生活のアンケート」調査（児童）で、次の項目について「とても思う」「思う」と回答する児童の割合を 90%以上にする。 <ul style="list-style-type: none"> ・「体育の学習は楽しい」（平成 30 年度 87. 8%） ・「スポーツや運動遊びが好きだ」（87. 3%） 	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【施策 5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取り組み】 個に適した課題をもたせ、「主体的・対話的で深い学び」ができるようにする。</p> <p>指標 研究主題に基づいた研究授業・全体研修会を年 15 回行う。</p>	
<p>取組内容②【施策 5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取り組み】 国語の学習において、児童の興味・関心、学習意欲を向上させる。</p> <p>漢字検定（4・6 年）、日本語検定（3・5 年）を計画的に実施する。</p>	
<p>取組内容③【施策 6 国際社会において生き抜く力の育成】 P C、タブレット端末、大型モニター、デジタル教材などの I C T を活用した教育を推進する。</p> <p>指標 年間 50 回以上、I C T 機器を活用した授業・学習活動を行う。</p>	

<p>取組内容③【施策 6 国際社会において生き抜く力の育成】 新学習指導要領の実施に向け、C－N E T や中学校と連携して外国語活動を充実させる。</p>	
<p>指標 英語タイムを週に 30 分以上、英語活動は年間標準授業時数以上実施する。 (3・4 年生－15 時間、5・6 年生－50 時間)</p>	
<p>取組内容④【施策 7 健康や体力を保持増進する力の育成】 体育科学習、体育的活動、休み時間・放課後の遊びなど、子どもの体力・運動能力を向上させる取り組みを充実させる。</p>	
<p>指標 「クラス遊び」を月 2 回、「たてわり遊び」年 6 回実施する。</p>	
<p>取組内容⑤【施策 7 健康や体力を保持増進する力の育成】 姿勢についての意識を向上させ、よい姿勢を保持できるような取り組みを行う。</p>	
<p>指標 「姿勢週間」に年 3 回取り組む。</p>	
<p>年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析</p>	
<p>次年度への改善点</p>	